

看護管理、継続教育への看護実践リフレクション活用



看護学科

鈴木 康美 教授

【研究分野】 看護管理学、継続教育
 【キーワード】 看護管理、継続教育、リフレクション、キャリア開発、成人学習論、協同学習
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=101suzu>



研究概要

看護基礎教育、看護継続教育において、2000年頃より、リフレクションが看護学生、看護師の成長を促すツールとして注目され、現在多くの施設でも導入されています。しかし、看護の対象者が年齢、性別、精神面、多様な社会背景を持ち、さらに疾患も複雑で、新型コロナウイルス等の新たな感染症などもあり、不確実性が高い看護実践において、看護職がどのようにキャリア開発を進めるか、看護管理者の悩みは尽きないことと思います。

私は、看護実践のリフレクションに関する研究を進める中で、看護実践について看護師が言語化し、その意味付けをすることによって、部署の看護実践に大きな影響を及ぼすことが分かりました。個々の看護師の支援が結果として、部署、病院全体の看護実践、看護のビジョンとの運動に繋がりを、看護管理とも深く関連しています。

研究紹介

- ・黒田久美子らと共著、2016年8月、「新人看護師教育責任者支援プログラムの開発—自施設の評価を踏まえた研究企画能力向上への支援」
- ・黒田久美子らとの共著、2019年3月、「新人看護師教育担当者能力自己評価票」(SS-CES) Ver.1の信頼性・妥当性の検証」原著 日本看護管理学会
 2019年3月「中規模病院の教育責任者からみた院内教育の現状と課題」保健医療福祉科学
 2018年3月「組織全体に看護実践のリフレクションを導入したことによる組織変革の効果に関する研究」保健医療福祉科学
 2020年11月、「看護実践のリフレクションを深める支援に関する研究—Sengeの学習する組織の観点から」教師学研究、Vol.23 (2) . 43-53.

講座テーマ紹介

1. **新人看護師教育責任者・担当者研修**：自分の組織を分析し、組織の状況に最適な新看護師教育プログラム立案について、教育の基本原則、評価、年間計画、時にはデモンストレーションを行う実践的なプログラムです。組織の規模に関わらず、自組織に適した教育計画を、自ら立案することが目標です。
2. **看護実践のリフレクションの支援**：リフレクションの基礎的な理論を学習し、リフレクションの演習を行います。看護実践のリフレクションを経験した後で、支援についてさらに学ぶことがポイントです。希望する施設に合わせて実施することも可能です。
3. **看護管理**：看護管理の基礎的な理論について学び、自分の組織についてのデータ収集、分析を行い、課題を明確にすることを学習します。SWOT分析、BSCなどの活用も可能です。主任、係長、師長補佐、師長等の看護管理者の方対象です。悩み、不安、課題の多い看護管理者の方にエールを送る講座です。

アピールポイントなど

看護実践を少しでも、改善し、よりよい看護を提供したいと試行錯誤している看護管理者の皆さん、新人看護師の教育に苦勞されている教育担当者の方の力になりたいと考えています。基礎的な理論と一緒に学び、臨床現場の悩みを解決していきましょう。希望される方には、前期の大学院の聴講、大学院進学との相談も可能です。